



出前授業で見出しを考案する桃山学院中の生徒—大阪市阿倍野区

桃山学院中学の生徒 見出しのつけ方学ぶ



す見出しのつけ方を講義。その後、大相撲の栃ノ心関の大関昇進が決まった際のニュースを教材にし、記事

を読んで見出しをつけるグループワークを行い、キーワードの見つけ方やインパクトのある言葉の省略の仕方学んだ。
授業を受けた生徒(13)は「文章から言葉を抜き出すのはけっこう難しかった」と話していた。

新聞を使った授業(NIE)に取り組んでいる桃山学院中学校(大阪市阿倍野区)の2年生が5日、本紙編集企画室の藪内朋之記者の出前授業を受けて、ワークショップ形式で新聞の見出しのつけ方を学んだ。

新聞を文化の一つとらえた「文化研究」という授業の一環。これまでスクラップなどを通じて、新聞について学んできた。

この日は藪内記者が、記事の文章から言葉を取り出